

---

# 恋愛心理ファイト

シー様（借りの返せない男）

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

恋愛心理ファイル

### 【コード】

N1990P

### 【作者名】

シー様（借りの返せない男）

### 【あらすじ】

ありがちな恋愛を描き、心理分析し、争わせる

## 事例Aカップル成立ケース（前書き）

心理学に自信のある人は、いきなりバトル編から読むと良いかも？

## 事例Aカップル成立ケース

〈ダイスケ 20歳の目線〉

私は、生まれて初めての合コンに行く。

特別に彼女が欲しいという期待がある訳ではない。

単に、合コンという場の雰囲気を知りたくて行くのである。

お食事所で、テレビのドラマのような自己紹介が始まる。

と、いつてもドラマのように美しくない。

皆は緊張しているのだろうか？

意味のないことや恥ずかしいことをペラペラとしゃべっている……

言葉の繋がりに脈絡がない……

もっと、ハキハキものを話すことはできないのか？

私は、こういう知的水準の低い人間は嫌いだ。

女を捕まえに来たのなら、もっとカッコ良く振舞えば良いものを……

まだ、何も喋らないで居るほうがマシである。

楽しくない……私が、場の雰囲気を盛り上げなくては……

くアキ 18歳の目線く

私は、彼氏に振られたばかりである。

まだ、引きずっている。

合コンなんかに来たくなかった。

今日は、友達が私に新しい出会いをさせようと、無理やり合コン設定したのだ。

恩着せがましい友達だ。

私は、恋愛できるような気分じゃないのに・・・

私は、終始、黙っていた。

自己紹介も軽めに済まし、早く合コンが終わる事を望んでいた。

く3人称 テーブルを囲むく

大介は、場の雰囲気盛り上げていた。

人を和ませるのは、大介の特技である。

大介は、親の事情で幼少の頃から引越しを繰り返して

町を点々と移り住む生活繰り返してた。

そのお陰か、人と知り合い付き合うのは、慣れているのである。

大介が、マシンガントークで話題を盛り上げていると、笑わない女、アキを発見する。

大介は、合コンが楽しく無いと思う人間が居ることに共感して、積極的に話しかけた。

「え？貴方も合コンがつまらないの？  
でも変だよ。。。さっきまで、大笑いしながら、トークをしてたじやない・・・」

「まあ、トーク自体は自分でやってても面白なんだけど、こんな都合コンでワザワザしなくてもいいことじゃん！

「トークで楽しみたかったら、男友達とやればいいだけだし・・・」

アキは、なぜだか大介に対して興味を覚えた。

「どうして大介さんは楽しくないの？」

「そりゃ決まっている・・・女あさが嫌いなんだ。

ガツガツしていて、カッコ悪いったらありやしない！俺は、そもそも運命的な出会いを求めるロマンチストだからな！！

アキは芸人風にツツコミを入れる

「なんでやねん！そないなら、アンタは何でここにおるんや？」

「判らん！！」

ずじーーーーーん

ずっこけるアキ。。だがアキにとっては、これくらい訳の判らない男の方が良いのである。

前の彼に散々ふりまわされて、男という生物が判らなくなっているから、一から男を知っていく方が気が楽なのである。

ダイスケの判らないという答えを探し、ズバズバと質問を投げかけ

る。

それに答えるように、ダイスケも答えをズバズバ返す。

ダイスケは、日ごろのストレスを晴らすように、自分のこと、愚痴、信念等、たくさんのことを話した。

2人は気が付くと、相当仲が良くなっていた。

お互いを尊重して褒めあう中になっている。

「俺ほど良い男はこの世にいないぞ〜〜〜そう思うだろう?」

「そう思うよ!女の子はホットカナイよw」

「じゃあ、俺と試しに付き合ってみるか?」

言葉のアヤというものだろうか、ダイスケは冗談交じりの言葉のもりだった……

「いいよ……なんか、面白くてカッコよくていいな〜〜て、思ってたから……」

このアキの返答により、ダイスケは、急にアキを意識しはじめてしまった。

女としてアキをよく見ると容姿端麗で性格も良くて、幸せになれることを期待した。

2人は流れに身を任せるように、付き合い始める……

## 事例Aカップル破綻ケース

「いてー！ー！ー！！やめてくれー！ー！」  
アキはダイスケにビンタをしている。

「テレビを見るな！！私を見る！！」  
アキは、怒り狂って、ダイスケに暴力を振るっている。  
二人の関係は3ヶ月目で泥沼となっている。

なぜ、こんなことになってしまったのだろうか？  
互いを尊重しあう中。それが、どこですれ違ったのか？

神様ー！ー！ー！ー！ー！ー！！おしえてくださー！ー！ー！ー！  
い！ー！ー！

よかろう！ー！

我に何でも聞くが良い。  
だが、聞いたら最後、あなたのエッチな記憶を全て消させてもらう。  
それでも良いなら答えてやる。

くくここから先は、危険ゾーンです。  
恋愛をしたくなくなります。

そして・・・エッチな記憶が消えてしまい。  
欲求不満になり、恋愛願望だけは強く増してしまいます。  
つまりは、生き地獄を味わうこととなる。

18歳未満禁止

出口／入り口

く神の声く

2人は順調に付き合っていた。

そして、親にも紹介する中になった。

だが、ダイスケには少しズレた一面があった。

人前で緊張しないという性格が・・・自由奔放の性格がそうさせるの  
だろうが・・・

彼女の親のベツトの上で、堂々と寝ている。

常識では考えられない行為を平然とするのだ。

親に挨拶しにきたものの、両親が帰宅するまで時間があり、その時  
間を有効活用しているつもりなのである。

決して悪気はない。

ストイックでサバサバした性格とも言えるが、それは、付き合い時  
間を深めることで、彼女の不満を爆発させていく。

ダイスケは自由奔放に自分の趣味、男女問わず遊び友達の家に行く。  
彼女との過ごす時間は、その間の暇つぶしという感じである。

彼女は、相手をされないことに不満を募らせ、また、友人関係が広  
いダイスケが浮気をしているのではと思い込み。

次第に、嫉妬と怒りを抑えきれなくなり、ついにはダイスケに暴力  
を振るう。

ダイスケは元々女に対して欲の無い男だった、付き合っても何かを女に求めることはあまりないのだ。

だが、アキは違う。

自由奔放な彼に自分の無いものを感じ憧れを抱き、真剣に惚れてしまった。

常に一緒に居たいと思いついようになり

つい彼を束縛し我がままを言い通そうとする。

自分の話題よりもテレビ夢中なダイスケに嫉妬心をむき出しにする。  
・  
・

だが、ダイスケも、自己中に行動していただけではない。

結婚も前提に考えていたし、将来、幸せな家庭を築けると思いつい今を我慢して耐えていた。

できるだけ彼女の我がままを聞いてきた。

その努力の積み重ねは失うのは勿体無い。今更精算して別れることはできない。。

2人は、これから、どうなるのだろうか？

と、神は心配などは一切していない。。。

神は2人のエッチな記憶さえ頂ければ、それで良いのだから・・・。

**事例Aカップル恋愛バトル開始！！**

**(前書き)**

エロ神様のお友達がシャシャリ出てくる

## 事例Aカップル恋愛バトル開始！！

みなさん、今宵お楽しみ頂くのは、恋愛心理ファイト記念すべき第一回の戦いの審判は、この方、ネルネル様！！  
神界でも退屈だけが幸せと豪語する奇人の神様で~~~~~す！！  
ちなみに、この企画を発案したのもネルネル様、ご本人でございます。

では、はじめま~~~~~す。

選手の入場です！！！！

東~~~~~ダイスケのやま~~~~~

西~~~~~アキのやま~~~~~

ネルネル「デハ~~~~~発狂イノコッタ！！！！」

「俺は、お前の束縛にウンザリしてるんだ~~~~~！！！！  
もっと男を敬うということをしろ~~~~~！！！！！！

「ふざけんじゃないわよ！！！！この浮気物！！！！

いつも電話で見知らぬ女とイチヤイチャ話しやがってー！ー！人を馬鹿にするのも大概にしろというのだ！！  
そっちに人としてオカシイところがあるのに、男を敬えだど？抜かすんじゃないねー！ー！ー！！！！

ネルネル「ノコッタ〜ノコッタ〜」

「アレは浮気なんかじゃない。唯の友達だ。それに浮気だと決め付けて男を信じないお前の方こそ、人としてどうかと思うぞ！！  
俺が、浮気をした現場を押さえたなら納得するが、嫉妬に狂って殴られたんじゃない、たまったもんじゃない！！！！

「嫉妬に狂う！？そりゃあ狂うさ。。普通の女だったら狂って当然だ！！お前・・・付き合うときに言ったよな！！  
私を幸せにするって約束したときながら誤解を受けるようなマネをしているのに、開き直るとはどういうことだ！？」

ネルネル「ノコッタ〜ノコッタ〜」

ネルネル「ノコッタ〜ノコッタ〜」

「・・・仕方ないだろうが！！友達の付き合いも大事にしたいんだよ俺は！！

それに、お前が、直ぐに切れるから、一緒に居るのが楽しくなくて、友達を優先させるんだ！

「・・・・・・・・」

ネルネル「ノコッタノコッタ」

「・・・・・・・・」

ダイスケは、勝ったという顔をしている。

「・・・・・・・・」

アキは、反論できない・・・

ネルネル「惚れたもん負けと言っちゃつか～～～～～？

このままだと、ダイスケが勝っちゃうよ～～～いいのかな～～～

ネルネルは、こっそりと、アキに耳打ちをする・・・

アキの表情は希望に代わる

「そっちから先に付き合おうっていったくせに！..!」

「はっ???そっだっけ?告白してきたのは、そっちだろうが・・・」

「忘れたとは言わせないぞ!..!ページ目、92行目!!じゃあ、俺と試しに付き合ってみるか?」= =

こっ言っただぞ!!お前は・・・

ネルネル「ノコッタノコッタ」

「あ！アレは違うぞ！！そっちが、話の流れを持っていったんだ。冗談交じりで言っただけだよ。」

そのあと、付き合いたい意思を示したのはアキの方なんだから、俺は、悪くない！！」

「冗談まじりで付き合う！？言ってしまったな！！このやろう！！それは人としてどうなのだ？冗談交じりでアタシの気持ちを受け入れたってこと？

ネルネル「ノコッタノコッタ」

「.....」

「ほら！！反論できないじゃないか！！人の気持ちを考えないで安易にホイホイと流されてしまう。」

ダイスケの方に問題があるんだよ！！

ネルネル「ノコッタノコッタ」

「確かに最初はそうだったかもしれないけど.....けど、恋愛なんてそうやってするものだろう。」

どちらかの気持ちMAXじゃないことも良くあることだし、対等にお互いを知り合っていて、結婚して幸せになっていくものだろう。」

「では.....問おう！気持ちMAXでなかったなら、なぜ、私の体を求めたのだ？

男として女を愛すなら、気持ちMAX状態で求めるのが礼儀ではないのか！！

ネルネル「ノコツタ〜ノコツタ〜」

「……おい!! 審判ねるねる!! これは、どうなんだ!?  
今時SEXなんて、皆普通にするだろうが〜」  
童貞を馬鹿にする風習だつてるし、高卒でSEXしているのが、当たり前なんだよ!!

ネルネル「私に聞きますか? じゃあ、どうしようかな〜」  
感想欄に、投稿して、世の中の中立な意見を聞いてみようか?  
それ次第で、君の立場がどうなるか決まるけどそれでいい?

「ああ!! いいぞ、世の中、皆、俺と同じ考えのはずだからな!  
」

こうして、2人のファイトは一時中断された・・・

-----

ま、視聴者参加型小説だ!!

この後の2人の戦いは、君の一票に掛かっている!!  
感想欄にて、どちらに投票するか選んでちょ。

ついでに、なぜ選んだかを意見を書いてもらえると、後のストーリー  
ーが、それを元にしたものになるかもしれない

**事例Aカップル恋愛バトル開始！！**

**(後書き)**

昔、こういう男女のケンカ番組が良くあったけど、最近は全く見かけんな・・・

## 意見の集計

ねるねる神「か、感想が、一つも集まらんかったぞ！」

「ゆ、ゆるせん・・・」

「こんなにも皆を事を想ってるのに・・・」

「もっいいい！」

「地球もろとも全部、ぶっ壊してやる！」

（・・・）  
（????????）

あれ？ 壊せない??なんで???



ネルネル「え、え、え、え、えー、な、なしてなの？

作者「理由等関係無い！ 俺の命令には従って貰う。できなければ・

ねるねる神「か、か、神様！！ す、す、すみませんでしたm（  
|（ m も、もう、地球を壊すなんてしないから・・・お願いだ  
からー！ー！！

（ノ、）

僕を消さんといてー！ー！ー！ー！ー！ー！ー！！！！

仕方が無いので、ねるねるは人を洗脳して無理やり意見を得た。  
以下はそれ

（河野夜兔さんご意見）

私はダイスケ派かな。

付き合う中にも互いの趣味の時間や友人関係とかはある程度ライン  
を引いて付き合える相手じゃないと窮屈だと思う。

あと、ぶっっちゃけヤツたら私のモノ的考えの女子ははっきりいって嫌いです。  
逆はもつと嫌いだけどね。

「こたろーさんのご意見」

うーん……何といえは良いのか。

どちらの主張も何かが違う気がします。相手のことを思えば何かを妥協することも必要だし……。

男性側が女友達と二人きりで遊んだりするのは嫌ですけどね。沢山いる中に女友達がいるってのは、私はアリですけど。

ダイスケもちょっと横暴かな？「敬え」なんて言われたら、滅多に怒らない私でもこぶしを繰り出します。命令口調は厳禁ですね。  
対等な立場で付き合ってるならなおさら。

どちらにも軍配をあげられない……です。アキちゃんも、もう少し大人にならないとね。

テレビにヤキモチ焼いちゃう気持ちはちょっと私にもわかりません。いましたけどね、友達で。

テレビ見るなら私と話をしたり、イチャイチャしたい！！ていう子。それはそれで可愛いのかなあ？タイプが違いすぎてわからない」。

「牛乳ノミオさん」

アキちゃんに一票

ダイスケは嫌い。

「努力の積み重ねは失うのは勿体無い」

って自己中すぎじゃあないですか？ アキちゃんのことなんか考え  
てません。

まあ、それはどうでもいいんだけど問題はこの発言です。

「童貞を馬鹿にする風習」

そんなもんあるか！！

童貞だって生きてるんだ！！

童貞だって恋がしたいんだ！！

童貞だって、童貞だって……あー！！

ダイスケ死ね！！

あとアキちゃん付き合ってください！！！！

くごはんライスさん 年齢30歳〜39歳

ども！都内に住む童貞ロリコン塾講師で〜〜す。

いいねえ、いいねえ、Hいいねえ！

おじさんもハアハアしたいよ〜〜

## 最終回

ねるねる「童貞ってキモイな・・・。

アナウンサーはネルネルの指示の元、童貞である牛乳+ごはんの意見を却下した。

こたろーも、どっち付かずなので却下された。

そうして残った意見は、河野の意見のみになり、ダイスケの勝利となった。

ダイスケの勝利が確定したところで、バトルは再開した。

ねるねる「ハッキョウイ~~~~ のこった!!!

ダイスケ「世間は俺と同じ意見だ!!! さあ、どうする? 負けを

認めるか？

ダイスケは勝ち誇った表情をしている。  
だが、なぜか、アキは余裕の表情をしていた・・・

アキ「皆さん聞いてください！

この男は詐欺野郎なんです。

本当は、童貞を捨てたくて、焦って合コンに参加したのです。自分  
のことしか考えてない奴なんです。

その証拠に彼は、20歳を18歳だと偽って高校生の振りをして合  
コンに参加したのです。

名門高校の制服を仕入れて身分を偽り女探しに来ていたのです。  
—ページの心理の演出は、全て私を惚れさせる為の手段だったので  
す。

ダイスケ「え~~~~~~~~!!!!????????

え~~~~~!!!!!!

なんでそうなってる!!!!!!??????

ネルネル「・・・だつて~~~~~この方が面白いんだもん

ネルネルは悪びれた様子などなく開き直っている。

神である作者に怒られて、よほどストレスが貯まっていたのだろう。  
誰か虐めたくて仕方がなかったのである。そしてダイスケが選ばれ



僕が間違っていました~~~~~!!!!!!  
僕は、カッコ悪い男でした。反省してます。恥ずかしいです。  
これから心を入れ替えて頑張ります!!!!!!

「よし、それでいい・・・さあ、家に返って、飯を作ってもらおうぞ  
!!!」

「アイサー~~~~~!!!!!!アキ様!!!!!!」

二人は、リングを降り家路へと、帰っていく。

ダイスケはアキの飼い犬のように、なっている。

・  
・

アナウンサー「何と・・・勝負はどうなってしまったのか？

両者ともリングアウトしてしまいました・・・

ネルネル様~~~~これで本当に良かったのですか？

ネルネル「良くない！ もっと血反吐出るバトルを期待してたのに  
~~~~~!」

アナウンサー「そ、そ、うですか・・・では、これからどうします？

なるねる「もう、いい!、めんどくさい! 帰って寝るネル!」

アナウンサー「わ、判りました・・・、では、これを持ちまして恋愛心理ファイトを終了させて頂きます。読者の皆さん、短い間でしたがお世話になりました~~~~~」



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1990p/>

---

恋愛心理ファイト

2010年12月10日22時55分発行